

参加無料

第18回川でつながる発表会

開催案内

新河岸川流域の学生や市民団体が、「いい川づくり」をテーマに日頃の活動成果を発表し、様々な世代が川や流域について交流する場として発表会を開催いたします。

開催概要

■日程：2023年2月26日(日)  
■場所：荒川下流河川事務所  
東京都北区志茂 5-41-1  
赤羽駅から徒歩約20分  
※赤羽駅からシャトルバスの運行を予定しています。

開催内容

■見学会  
①乗船体験  
②岩淵水門  
③荒川知水資料館amoa  
※①②は人数多数の場合、人数制限があります。

■発表会  
自由学園  
法政大学 文学部地理学教室  
岩淵小学校 校長先生

■交流会  
パネル展示  
クイズラリー  
VR体験 など  
※プログラムは変更の場合があります。

■プログラム(案)

|         |     |
|---------|-----|
| 9:45 ~  | 受付  |
| 10:00 ~ | 開会  |
| 10:10 ~ | 見学会 |
| 12:00 ~ | 昼休憩 |
| 13:00 ~ | 発表会 |
| 14:40 ~ | 交流会 |
| 16:15 ~ | 閉会  |

川でつながる発表会への参加をご希望の方は事前申込みをお願いします。多くの方のご参加をお待ちしております！

申込方法

【方法①】  
QRコードを読み込み、必要事項をご入力ください。

参加申込QRコード

【方法②】  
必要事項5点を記載して、E-mailまたはFAXにて【2023年2月17日(金)】までにご連絡ください。  
<必要事項>  
1.氏名 2.住所 3.TEL 4.E-mail 5.参加予定のプログラム

申込先・お問い合わせ

新河岸川流域川づくり連絡会事務局/日本工営株式会社 防災マネジメント部 安井  
E-mail:sogo-bosai@dx.n-koei.co.jp FAX:03-3262-4451

事務局だより

11月18日(金)に第2回新河岸川流域川づくり連絡会をWEB形式で開催しました。第2回連絡会では、第18回川でつながる発表会のプログラム内容やしんぶん里川の企画内容などについて協議しました。  
また、連絡会後半の勉強会では、リバーフロント研究所より、河川における外来魚対策についてご講演いただきました。



第2回連絡会の様子

川づくり連絡会に参加してみませんか？

新河岸川流域川づくり連絡会は、今年度は3回の開催を予定しています。参加希望の方は下記の連絡先までお問い合わせください。

しんぶん「里川」掲載情報を大募集します！

各地域での活動報告やイベント情報を募集しています。川に関する身近な情報などをお手紙またはFAXなどで下記連絡先までお寄せ下さい。

■連絡先

新河岸川流域川づくり連絡会 事務局  
(国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 流域治水推進室内)  
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1  
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346  
URL [https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage\\_index044.html](https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage_index044.html)

THE SHINGASHI BASIN NEWS

新河岸川流域しんぶん

里川

SATO-GAWA

発行●新河岸川流域川づくり連絡会（荒川下流河川事務所 流域治水推進室内）  
住所●東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346  
発行日●令和4年12月16日



切り絵 毛利将範

切り絵の解説

今号の切り絵は、昭和初期まで新河岸川の源流であった、川越市にある「伊佐沼」です。現在は、赤間川が新河岸川の源流となり、伊佐沼は新河岸川の支流である九十川の源流となって新河岸川に合流しています。  
伊佐沼には広い水面とハスの群落や浮島など多彩な水辺環境があり、年間を通じて野鳥観察が楽しめます。また、釣り人も多く訪れています。

目次

- P2～3 新河岸川流域 イベント開催報告in2022
- P4 第18回川でつながる発表会 開催案内 事務局だより
- P5 特集:「SDGs」ってなんだろう？

2022年も年の瀬を迎えました。みなさんにとって今年はどういう年でしたでしょうか？  
来年も良い年となりますと幸いです。  
今号の中面では、10月までに実施された川まつり等の新河岸川流域での活動内容をご紹介します。今年は新型コロナウイルス感染症の活動制限も緩和され、数年ぶりに開催された川まつりもありました。  
特集記事では、新河岸川流域にこれから暮らしていくための取り組みとして「SDGs」を分かりやすく紹介しています。  
そして次号はいよいよ100号です。25年の歴史がある「しんぶん里川」の100号企画を掲載予定です。お楽しみに！



しんがしがわりゅういき

かいさいほうこく

新河岸川流域 イベント開催報告in2022

千代田区

今年も新河岸川流域で様々なイベントが開催されました。今号では7-10月に開催されたイベントの様子を紹介します。来年度も川まつりなどイベントが開催される予定ですので、これまでの参加実績に関わらずみなさんぜひご参加ください！

※7/24日「柳瀬川で遊ぼう」、8/7日「第21回わいわい川遊び（黒目川）」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。



1 7/16 (土) からぼりがわ 空堀川

「第45回クリーンアップ空堀川夏の清掃活動」

主催：空堀川を考える会

上流と下流に分かれてごみを拾い、集めたごみを分別した後、全体で意見交換を行いました。また、清掃中に拾った、レジ袋、カップ型プラ容器、ペットボトルの数を各自で数えることで、ごみ調査を実施しました。捨てる人ではなく、拾う人になることを、みんなで意識することで川はきれいになっていきます。







カナダ出身の女性

普段から川の近くを通りごみを拾っているの、今回の清掃活動に参加しました。母国と比べて、空堀川はきれいと感じました。一人の力では限られるので、みんなで一緒に取り組むことが大切だと思いました。また参加したいと思いました。

2 7/24 (日) くろめがわ 黒目川(東久留米市)

「コロナに負けるな!! 2022年第29回川掃除!!」

主催：わくわく川掃除 & 川遊び実行委員会

当日は、雲一つない晴れ空で、太陽からの日差しが強かったため、汗を流しながらの川掃除となりました。都立久留米高等学校の生徒・教諭、市民などの参加者は、拾ったごみの種類と数を調査しました。川を綺麗に保つためには、ポイ捨てをせず、ごみが落ちてれば拾うことが大事です。







高校教諭

授業の一環として参加しました。面白かったです。生徒も楽しんでくれていた様子です。絶滅危惧種の水生植物やアユを発見し、生態系について考える良いきっかけとなりました。初めての参加でしたが、次回も参加したいと思います。

3 7/30 (土) すいしつぶんせきたいけんかい

「水質分析体験会」

主催：法政大学文学部地理学教室

法政大学文学部地理学教室の小寺先生のご指導の下、水質分析体験会が行われました。6月5日(日)実施の「身近な水環境の全国一斉調査」で採水した新河岸川流域の各河川の水を用いて、整理番号付け、ろ過、CODの調査を順に行いました。一連の作業の中で、正しい方法で行っていない作業が1つでもあると全体の分析結果が正しく出ないため、慎重で丁寧な作業が必要です。







参加者の女性

以前、下水道処理施設の事務で働いていました。技術系職員が処理水の水質分析を実施しており、言葉に馴染みがあったので参加しました。実際に水質分析を体験し、どのようなものであるかを知ることができて良かったです。

4 8/7 (日) きたがわ 北川

「第25回北山わんぱく夏まつり」

主催：北山わんぱく夏まつり実行委員会・東村山市

カヌー遊び、ザリガニ釣り、魚とりなど子どもたちはとても楽しんでいました。今年から東村山市との共催となり、市長も参加しました。また、高校生や大学生がボランティアとして参加していました。小学生の頃に参加した北山わんぱく夏まつりがボランティアや市民団体の活動のきっかけとなった例もあり、良い繋がりできています。







高校生のボランティア

準備としてごみをとったり、当日はパンフレットを配布したりしました。子どもたちが楽しんでくれている様子を見ると自分も楽しくなります。また、自分の活動によって生態系が少しでも良くなってくれと嬉しいです。

5 8/21 (日) くろめがわ 黒目川(朝霞市)

「黒目川・川まつり2022」

主催：黒目川川まつり実行委員会

まず、みんなで川のごみを取り、川がきれいになった後、魚とりやタイヤボート乗りが行われました。中学生のボランティアが、小さい子を乗せたタイヤボートを押したり引張ったりして動かしていました。子どもたちの楽しむ声が響いていました。







小学生のお父さん

近くに住んでいて川まつりには何回か参加しています。今日は網を持ってきて魚をとりました。普段も時々川に遊びにきています。浅くてきれいな川なので遊びやすく、子どもにとって良いと思っています。

6 10/1 (土) こえどがわ 越戸川

「越戸川まつり」

主催：和光自然環境を守る会・和光市環境課

市長の挨拶と恒例の"ふるさと"大合唱により、越戸川まつりが始まりました。川では子どもたちが魚とりをし、川沿いには様々な活動紹介のテントが並びました。たくさんの魚を捕まえた子どもや、大きな魚を捕まえた子どもが表彰されました。川まつりが始まったときには空であった水槽が、みんなのとった魚でいっぱいになり小さな天然水族館ができました。







小学生の女の子

魚とり楽しかった! たくさんとれるように頑張った!

7 10/23 (日) しらかわ 白子川

「白子川源流まつり」

主催：白子川源流・水辺の会

爽やかな秋晴れの中、子どもたちが川に入り、白子川探検隊をしていました。ステージでは、川や周辺の地域に関するトークや白子川クイズ、合唱、演奏が順次行われとても賑やかでした。クイズでは「知らないものは守れない」ということばが印象的でした。クイズを通じて白子川について学んだ上で保全活動に参加していくことが必要なのですね。







トーク参加者

子どもの頃は川でよく遊んでいました。自然の中で自然環境について学ぶことは大事だと思います。最近白子川の周辺に引越してきたので、白子川の活動に参加してみたいと思います。



しんがしがわりゅういき  
**新河岸川流域でもこれから先**  
みんなが暮らし続けていけるように  
SDGsの取り組みをしていきましょう。

2030年までに持続可能でよりよい  
世界を達成しようと  
世界中で取り組んでいるよ。  
全部で**17**の目標があるんだね。

ひとひひとひに  
**できることがあるよ。**  
どんな小さなことでも良いから、  
みんなで取り組もう！

みんなは川や流域に関してどんな  
ことができるかな？  
川や流域のSDGsについて一緒に  
考えてみよう！

THE SHINGASHI BASIN NEWS  
新河岸川流域しんぶん  
里川  
SDGs

かわ りゅういき かん  
**河川敷を散歩したり、水辺で休んだりする  
ことで心身の健康が保ちやすくなるよ。**

みんなと一緒に、川の水をきれいにし、  
魚や植物を守ろう。

新河岸川流域での清掃

だれ  
誰ひとり取り残されことなく、みんなが地球で  
暮らし続けるために作った目標を  
**Sustainable Development Goals**  
(持続可能な開発目標)と言います。

SDGsって  
なんだろう？

だれ  
誰でもみんな平等に、川まつりなどの地域の  
イベントに参加できるよ。

みんなが安心して生活するためには、  
水災害による農作物や電力施設、資産の  
被害を減らすことも大事だね。

川や流域に関するSDGsについてもっと知りたい  
ときは、右のQRコードから調べてみてね。

流域では、水を貯めたり洪水を起こりにくくしたりするため、  
**強いインフラ**を作って、気候変動の影響で、たくさん発生している大  
きな水災害に備えているよ。

はんらん域の水災害リスクをへらして  
まちやまちに住む人を守ろう。

大雨のときにつまらぬようにするため、晴れているときは  
排水路をそうじし、大雨が降ったときは少しでも川に入る水  
をへらすため、お風呂や洗濯の水を流さないようにしましょう。

みんなが安心して生活するためには、  
水災害による農作物や電力施設、資産の  
被害を減らすことも大事だね。

新河岸川流域での川まつり

荒川知水資料館 amoa

かわ りゅういき かん  
**川や流域について勉強しよう。**  
あらかわすいしりようかん アモア  
荒川知水資料館 amoaでは荒川の歴史や河川  
の自然環境などについて勉強できるよ。

かわ りゅういき かん  
**川や流域に関するSDGsについてもっと知りたい  
ときは、右のQRコードから調べてみてね。**

かわ りゅういき かん  
**川や流域に関するSDGsについてもっと知りたい  
ときは、右のQRコードから調べてみてね。**

ユニセフHP

荒川下流河川事務所HP

かわ りゅういき かん  
**川や流域に関するSDGsについてもっと知りたい  
ときは、右のQRコードから調べてみてね。**

ユニセフHP

荒川下流河川事務所HP